

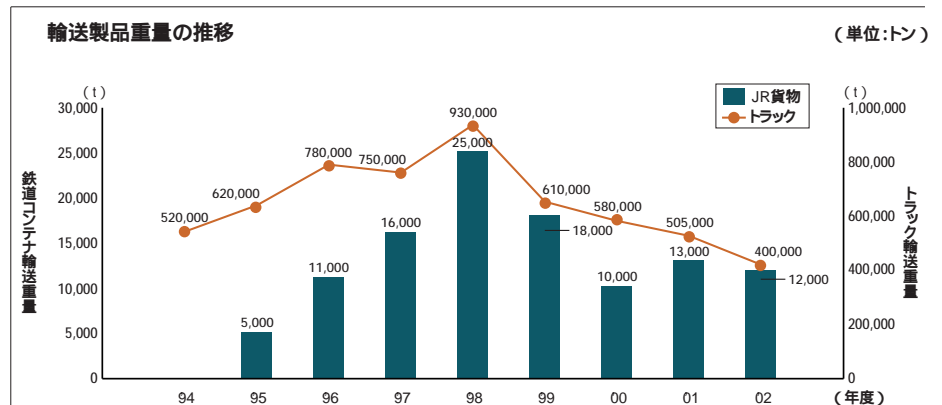
## 物流のあらゆる工程で、独自の技術と工夫で環境負荷を低減しています。

製品をお客さまにお届けする物流にも、環境への影響を改善する多様な可能性があります。製品や部材、リサイクル品などの物流を担当する富士通ロジスティクスでは、製品の包装設計から保管・輸送にいたる一連の物流工程から発生する環境負荷を低減するさまざまな施策を展開中です。富士通グループは、これからも、企業活動の幅広い分野で環境への取り組みを続けてまいります。

### 主な環境政策と推進状況

#### モーダルシフト<sup>1</sup>の推進

輸送工程で発生するCO<sub>2</sub>、窒素酸化物や硫黄酸化物の排出を削減するため、1995年以降、トラック中心の輸送体制から鉄道輸送を組み合わせたモーダルシフトを積極的に推進しています。



### 新しい取り組み

#### 生分解性プラスチック包装材の適用

これまで汎用(バラ状)緩衝材では生分解性プラスチック材料を一部採用していましたが、新たに携帯電話やパソコンなどの包装用に、生分解性プラスチック袋とブロック緩衝材を開発・適用しました。今後も、さらなる適用拡大に向け、取り組みを強化していきます。

#### 生分解性袋

##### 【特徴】

- ・透明性・シート強度の要求性能を満たす収容袋の開発

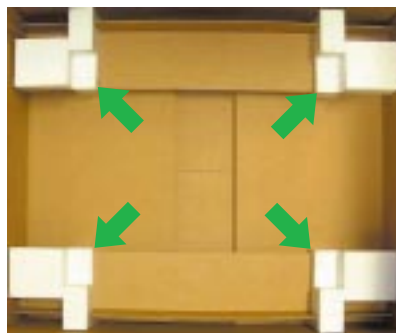


グリーンプラスマークは、生分解性プラスチック研究会(BPS: Biodegradable Plastics Society)が認定しています。使用後は自然界の微生物によって水とCO<sub>2</sub>に分解され、自然界に戻るプラスチックであることの証しです。

#### 生分解性プラスチックブロック緩衝材

##### 【特徴】

- ・段ボールとはめ込み式で最小使用量を実現



#### ウォーターレス印刷の適用

これまでパソコンや携帯電話機の包装用印刷にはVOX(揮発性有機化合物)の少ない大豆インキを使用していました。この度、新たに光磁気ディスク装置(MO)で、大豆インキに加えて、印刷工程でアルカリ現像廃液が発生しないウォーターレス印刷を採用しました。今後もさらなる適用拡大を推進していきます。

【特徴】

- ・有害な廃液(腐食液やIPAなど)が出ない新しい現像方式
- ・大豆インキや再生紙との併用で、さらなる環境対応型印刷が実現可能

##### 【特徴】

- ・有害な廃液(腐食液やIPAなど)が出ない新しい現像方式
- ・大豆インキや再生紙との併用で、さらなる環境対応型印刷が実現可能



ウォーターレス印刷は、世界規模の環境保全団体(WPA: Waterless Printing Association)が認定しています。環境保全と高品質の条件をともに満たした印刷に認められる証しです。今後、環境への負荷が少ない印刷方式として普及が期待されています。



水なし(ウォーターレス)印刷方式

### 2003年度 主な実施計画

- ・繰り返し使用可能な、リターナブル型コンテナの適用拡大および新規開発を推進します。
- ・緩衝材には、廃棄時の環境保全と廃棄量削減がはかれる生分解性プラスチックおよびエア・クッションの適用を拡大します。
- ・CO<sub>2</sub>排出実態把握の精度向上をはかり、モーダルシフトなどの施策へ反映し、さらなるCO<sub>2</sub>削減を推進します。